

【 2 年 】

各教科共通

- ◎読み解く力〈6つの領域〉について、意識した授業を行う。
- ◎教科書分析を行い、言葉にこだわり、「読むこと・書くこと・話すこと」の時間を重視する。
- ◎必然性のある内容を工夫し、家庭学習との連携を図る。

国語

■児童の状況	○物語文の登場人物の気持ちを考えたり、説明文の内容を捉えたりできる児童が多い。 ●字を整えて書くことができる児童が少ない。よって、漢字学習にも苦手意識を持っている児童が多い。 ●自分の考えたことを素直に書こうとするが、主語述語を考えたり、順序立てたりして文章を上手に書ける児童は少ない。
■指導についての課題	・漢字の読み書き、書写能力向上の指導 ・筋道を立てて文章を書く力の育成
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・めあての共書き、朝学習を中心として、書写能力の向上を図る。 ・ノート指導や新聞作り、今週のニュース、また生活科の観察カード等、書く機会を増やし、書く力の育成を図る。 ・目的のある読書の時間を確保し、語彙を増やしていく。

算数

■児童の状況	○繰り上がり・繰り下がりのある計算の筆算は、概ね理解している。 ●かさ、長さ、時刻と時間の理解の定着に課題がある。 ●文章題の読み取りが浅く、何を答えたらよいのか、読み取れない。
■指導についての課題	・補習学習の有効活用 ・苦手な児童への個別指導の時間の確保
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・日常生活の中でかさ、長さ、時刻と時間を意識させ、繰り返し指導する。 ・算数以外の授業においても、線や図を丁寧に描写する声かけをする。 ・文章題に関しては、演算決定の言葉やキーワード、何を求められているのかを明らかにし、問題解決を行うよう指導する。

生活

■児童の状況	○植物を育てることに意欲的であり、成長を心待ちにしている。 ○1年生等の他者との交流に意欲的である。 ●地域に対する関心、関わりが十分ではない。
■指導についての課題	・個でもグループでも、自ら考え自ら表現できるような単元、学習過程の設定 ・児童自らが立案・実施できるような時間の確保 ・振り返りの時間の確保
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・時間にゆとりをもち、子どもたちが自ら考え、自ら工夫して活動や表現ができるよう、単元の設定や学習過程を工夫する。 ・地域との関わりを、できる限り多く活動の中に取り入れるようにする。

体育	
■児童の状況	○体を動かすことが好きな児童が多い。 ○ルールを守り、仲よく運動ができる。 ○1時間毎、単元終了後の振り返りができる。 ●投力を筆頭に、全体的に運動能力が低い。
■指導についての課題	・運動能力を高める運動遊びの設定 ・1時間の流れを理解し、自分達で授業を進めていく能力の育成
■授業改善に向けての具体的な方策	・自主的、意欲的に活動できるゲーム学習の提示 ・振り返りカードの工夫、書き込む時間の確保 ・グループ活動を多くし、学び合い、協力する力を付けるようにする。

特別の教科 道徳	
■児童の状況	○学習問題についての意見は書け、発表もできる。 ○教材の主人公の心情や考えを話し合いの中で深めることが今ひとつである。 ●自分のことを振り返る際、y経験の不足から考えることができない児童がいる。
■指導についての課題	・道徳的価値の大切さに気付かせること ・思考が深まらない児童への支援と配慮
■授業改善に向けての具体的な方策	・題材と具体的な日常の場面を関連させながら考えさせ、自分に置き換えて考えるようにし、実践できる力と結び付くようにする。 ・教材を基に課題に向き合わせると共に、考えが書けない深まらない児童には個別に声掛けをしていく。 ・他者の考えを共有することで内容項目に対する考えを深める。